

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月2日

上場会社名 オーケー食品工業株式会社  
 コード番号 2905 URL <http://www.ok-food.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 東久保 正興  
 (氏名) 川口 康太郎

TEL 0946-22-2000

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,422	3.3	△190	—	△223	—	△255	—
23年3月期第2四半期	4,281	△4.6	50	△81.3	23	△90.8	1	△99.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△6.88	—
23年3月期第2四半期	0.03	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	8,950	2,043	22.8	55.13
23年3月期	9,414	2,296	24.4	61.97

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,043百万円 23年3月期 2,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	3.2	△140	—	△190	—	△250	—	△6.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	37,181,410 株	23年3月期	37,181,410 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	119,913 株	23年3月期	117,997 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	37,062,780 株	23年3月期2Q	35,621,226 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 注記事項 .....	9
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から半年が経過し、復興に向けた取組などにより回復基調にあるものの、円高や海外経済の減速傾向により、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

加工食品業界におきましては、消費者の低価格志向の強まりから同業者間の価格競争激化が続くとともに、主要原材料価格は依然として高値で推移しており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもとで、当社は、食品メーカーとしての基本である「安全性」確保のために「品質管理」を一層徹底し、「安全で安心な商品」の提供に努めてまいりました。

営業面では、当社の強みである多品種少量生産の技術できめ細かい営業に努め、販路拡大に努力しました結果、売上高は前期を上回ることができました。

生産面では、品質管理を一層徹底し安全な商品作りに努める一方、今年の4月から開始しました甘木第二工場の操業等生産効率の向上によるコスト削減と、さらなる品揃えの充実に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期に比べ1億41百万円増加して44億22百万円（前年同期比103.3%）となりましたが、損益につきましては、販売価格の値下げ及び原材料価格の高騰等により前年同期に比べ2億41百万円減少し営業損失1億90百万円（前年同期は50百万円の利益）、経常損失2億23百万円（前年同期は23百万円の利益）、四半期純損失は、甘木第二工場の操業に伴い、生産体制効率化のため三輪工場を閉鎖したことによる固定資産の減損損失等を特別損失に計上したこともあり2億55百万円（前年同期は1百万円の純利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①貸借対照表

当第2四半期会計期間末における財政状態は、前事業年度末と比較して総資産は4億64百万円、負債は2億10百万円、純資産は2億53百万円それぞれ減少いたしました。

総資産の減少要因は、主に現金及び預金の減少3億40百万円、有形固定資産の減少1億74百万円等によるものです。

負債の減少要因は、主に長期借入金の返済2億21百万円等によるものです。

純資産の減少要因は、四半期純損失2億55百万円によるものです。

#### ②キャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比べ3億40百万円減少し（前年同期は3億14百万円の減少）、当第2四半期会計期間末は5億54百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億96百万円（前年同期は1億36百万円の減少）となりました。この要因は、税引前四半期純損失3億48百万円、売上債権の増加1億61百万円あったものの、非資金費用の減価償却費2億89百万円、減損損失1億11百万円、法人税等の還付額81百万円、未払消費税等の増加75百万円、たな卸資産の減少33百万円あったこと等によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億45百万円（前年同期比141.1%）となりました。これは、新工場建設、生産能力維持及び製造原価低減のための機械購入等有形固定資産の取得による支出4億45百万円あったこと等によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、91百万円（前年同期は1億38百万円の増加）となりました。これは短期借入金純増額90百万円あったものの、長期借入金の返済による支出1億70百万円、リース債務の返済による支出11百万円あったこと等によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期業績予想につきましては、平成23年8月5日に公表いたしましたとおりです。

なお、今後の見直しにつきましては、経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	895,624	554,934
受取手形及び売掛金	1,341,328	1,502,343
商品及び製品	434,494	358,291
仕掛品	26,693	31,352
原材料及び貯蔵品	323,314	436,618
前渡金	75,562	—
繰延税金資産	47,489	73,479
その他	190,978	35,705
貸倒引当金	△1,900	△3,925
流動資産合計	3,333,585	2,988,799
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,651,397	1,579,893
機械及び装置（純額）	1,348,243	1,361,661
土地	1,579,827	1,579,827
リース資産（純額）	75,938	91,735
建設仮勘定	215,587	—
その他（純額）	125,536	208,978
有形固定資産合計	4,996,531	4,822,096
無形固定資産		
投資その他の資産	6,746	6,449
繰延税金資産	343,298	416,772
賃貸不動産（純額）	407,407	394,310
その他	339,643	331,174
貸倒引当金	△12,347	△8,908
投資その他の資産合計	1,078,001	1,133,348
固定資産合計	6,081,279	5,961,894
資産合計	9,414,865	8,950,693

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,007	760,816
短期借入金	1,190,000	1,280,000
1年内返済予定の長期借入金	391,400	442,800
リース債務	19,560	37,427
未払法人税等	11,403	11,916
未払配当金	691	673
賞与引当金	91,423	91,087
その他	818,301	642,064
流動負債合計	3,259,787	3,266,784
固定負債		
長期借入金	3,388,600	3,167,200
リース債務	59,724	58,556
役員退職慰労引当金	106,130	112,740
退職給付引当金	224,104	222,585
資産除去債務	50,488	50,998
長期預り敷金保証金	27,708	27,708
その他	1,500	1,000
固定負債合計	3,858,255	3,640,788
負債合計	7,118,043	6,907,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,859,070	1,859,070
利益剰余金	465,723	210,614
自己株式	△13,856	△14,013
株主資本合計	2,310,937	2,055,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,115	△12,551
評価・換算差額等合計	△14,115	△12,551
純資産合計	2,296,821	2,043,119
負債純資産合計	9,414,865	8,950,693

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,281,066	4,422,306
売上原価	3,269,112	3,609,902
売上総利益	1,011,953	812,403
販売費及び一般管理費	961,065	1,002,847
営業利益又は営業損失(△)	50,888	△190,443
営業外収益		
受取利息	59	29
受取配当金	2,436	2,487
受取賃貸料	37,716	38,404
その他	9,900	9,697
営業外収益合計	50,113	50,619
営業外費用		
支払利息	34,542	39,976
賃貸収入原価	24,956	25,269
賃貸費用	933	10,666
その他	16,901	8,035
営業外費用合計	77,332	83,948
経常利益又は経常損失(△)	23,669	△223,772
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,266	—
特別利益合計	3,266	—
特別損失		
固定資産除却損	213	—
投資有価証券売却損	1,690	—
ゴルフ会員権評価損	2,300	375
役員退職慰労金	27,168	—
たな卸資産廃棄損	—	12,876
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,822	—
減損損失	—	111,888
特別損失合計	66,194	125,139
税引前四半期純損失(△)	△39,259	△348,912
法人税、住民税及び事業税	6,798	6,700
法人税等調整額	△47,124	△100,504
法人税等合計	△40,325	△93,803
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,065	△255,108



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△39,259	△348,912
減価償却費	246,657	289,355
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,822	—
減損損失	—	111,888
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△966	4,885
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,142	△336
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,930	11,890
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,253	△1,518
受取利息及び受取配当金	△2,496	△2,517
支払利息	34,542	39,976
有形固定資産除却損	14,537	3,035
有形固定資産売却損益(△は益)	51	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1,690	—
役員退職慰労金	27,168	—
売上債権の増減額(△は増加)	△26,001	△161,014
たな卸資産の増減額(△は増加)	△210,703	33,802
仕入債務の増減額(△は減少)	61,619	23,809
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44,992	75,951
その他	62,962	80,919
小計	169,451	161,215
利息及び配当金の受取額	2,496	2,517
利息の支払額	△31,305	△36,700
役員退職慰労金の支払額	△117,728	△5,280
法人税等の支払額	△159,764	△6,653
法人税等の還付額	—	81,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,850	196,413
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△311,284	△445,328
有形固定資産の売却による収入	943	—
有形固定資産の除却による支出	△3,824	—
投資有価証券の取得による支出	△2,275	△2,331
投資有価証券の売却による収入	512	—
その他	200	2,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315,728	△445,519

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	470,000	90,000
長期借入金の返済による支出	△170,000	△170,000
リース債務の返済による支出	△35,354	△11,408
配当金の支払額	△125,816	△18
その他	△444	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,385	△91,583
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△314,194	△340,690
現金及び現金同等物の期首残高	807,468	895,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	493,274	554,934

(4) 注記事項

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)																		
	<p>減損損失</p> <p>第2四半期累計期間において、当社は以下の資産について減損損失を計上しました。</p> <table border="1"><thead><tr><th>場 所</th><th>用 途</th><th>種 類</th><th>金額 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">福岡県朝倉郡 (三輪工場)</td><td rowspan="4">生産設備</td><td>建物等</td><td>51,830</td></tr><tr><td>構築物</td><td>3,724</td></tr><tr><td>機械及び装置</td><td>40,792</td></tr><tr><td>工具器具備品</td><td>874</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>97,222</td></tr></tbody></table> <p>当社は、あげ事業用資産を一つの資産グループとし、賃貸用資産及び遊休資産は物件単位にグルーピングを行っております。</p> <p>三輪工場について操業停止を決定したことに伴い、将来の使用が見込まれていない生産設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額するとともに、当該減少額を撤去費用と合せて、減損損失(111,888千円)として特別損失を計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却予定資産については売却予定額に基づき評価し、売却が困難な資産については正味売却価額を零として評価しております。</p>	場 所	用 途	種 類	金額 (千円)	福岡県朝倉郡 (三輪工場)	生産設備	建物等	51,830	構築物	3,724	機械及び装置	40,792	工具器具備品	874	合 計			97,222
場 所	用 途	種 類	金額 (千円)																
福岡県朝倉郡 (三輪工場)	生産設備	建物等	51,830																
		構築物	3,724																
		機械及び装置	40,792																
		工具器具備品	874																
合 計			97,222																

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。